

2010年8月6日

報道関係者各位

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス

## 株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス 2011年3月期 第1四半期連結決算のお知らせ

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：和田 洋一、以下当社）は、本日、第1四半期の決算発表を行いましたのでお知らせいたします。

### 財務ハイライト

	■ 第1四半期連結会計期間（4月1日～6月30日）		百万円
	2011年3月期	2010年3月期	前年比
	第1四半期	第1四半期	
売上高	32,540	29,399	+11%
営業利益	5,434	594	+814%
経常利益	3,426	1,529	+124%
純利益	1,812	-1,672	-
1株当たり純利益	15.75円	-14.54円	-

	■ ご参考：通期（4月1日～3月31日）		百万円
	2011年3月期計画	2010年3月期	前年比
売上高	160,000	192,257	△17%
営業利益	20,000	28,235	△29%
経常利益	20,000	27,822	△28%
純利益	12,000	9,509	+26%
1株当たり純利益	104.28円	82.65円	+26%

詳細な情報は、本日開示の四半期決算短信（<http://www.square-enix.com/11q1tanshin.pdf>）をご参照下さい。

ご参考：スクウェア・エニックス IRページ <http://www.square-enix.com/jpn/ir/>

当社の代表取締役社長である和田洋一は、次のように述べています。

「当第1四半期は、2010年4月に発売した「ドラゴンクエスト モンスターズ ジョーカー2」がミリオンセラー(125万本出荷)になったことに加え、2010年3月に欧米で発売した「ジャストコースト 2」、「ファイナルファンタジーXIII」等の大型タイトルの貢献を主要因として、順調に推移いたしました。

第2四半期以降も既存事業の強化を継続するとともに、当社グループの中長期的な成長を実現するための戦略的な課題である「グローバル化」、「ネットワーク化」、「自社IPの強化」の3つに注力し、邁進してまいります。」

以 上

<ご参考>

## 株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスについて

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスは、多彩なコンテンツ／サービス事業を展開しているスクウェア・エニックス・グループを統括する純粋持株会社です。当社グループは、スクウェア・エニックス、タイトー、アイドスなどの国際的ブランドのもと上質なエンターテインメント・コンテンツ／サービスを提供しています。また、先進的な開発拠点を日本、北米および欧州に配置し、国際的な事業推進体制を構築しています。当社グループの自社IPの代表作「ドラゴンクエスト」シリーズはこれまでに5,400万本以上、「ファイナルファンタジー」シリーズは9,700万本以上、「トゥームレイダー」は3,500万本以上の世界出荷を記録しています。

(<http://www.square-enix.com/>)

※SQUARE ENIX および SQUARE ENIX ロゴ、ドラゴンクエスト／DRAGON QUEST、ファイナルファンタジー／FINAL FANTASY、その他の社名、商品名は、日本およびその他の国における株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスの商標または登録商標です。※その他、記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。